

2016年3月期 決算報告

2016/5/13

第一生命保険株式会社

一生涯のパートナー

第一生命

- 2016年3月期の連結純利益は5期連続で上場来最高を更新。第一フロンティア生命が黒字化、当期から連結対象となったプロテクティブの利益も大きく貢献。株主配当は前年比7円増配となる一株当たり35円の当初予想を据え置き、併せて160億円を上限とする自己株式取得を発表。
- 国内金利が大幅に低下する中、第一生命単体では主力商品の販売にシフト、医療保険など第三分野の販売も拡大。第一フロンティア生命でも外貨建商品の販売が堅調で、グループの新契約年換算保険料は前期比14.2%増加。新契約価値は金利低下の影響を受けて2,161億円に留まる。
- 2017年3月期の業績は、貯蓄性商品の販売をコントロールしていることから減収を見込むが、海外子会社の利益貢献拡大もあって、連結純利益はさらなる増益を予想。株主配当についても更に増額し、一株当たり40円を予想。

- 国内外の子会社業績の貢献により、連結経常収益・連結経常利益・連結純利益⁽¹⁾ともに前期比で増加

(億円)

	15/3期	16/3期(a)	前期比	
			増減	増減率
連結経常収益	72,522	73,339	+817	+1%
第一生命単体	47,984	42,657	△5,326	△11%
連結経常利益	4,068	4,181	+113	+3%
第一生命単体	4,087	3,442	△645	△16%
連結純利益 ⁽¹⁾	1,424	1,785	+360	+25%
第一生命単体	1,521	1,291	△230	△15%

<参考>

2015/11/13 発表予想(b)	達成率(a/b)
	70,960
42,010	102%
3,690	113%
3,010	114%
1,610	111%
1,190	109%

(1) 連結純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益を記載しています。

■ プロテクティブの業績の取込みに加え、第一フロンティア生命の収支改善が連結業績に貢献

連結損益計算書 (要約)⁽¹⁾

(億円)

	15/3期	16/3期	増減
経常収益	72,522	73,339	+817
保険料等収入	54,327	55,860	+1,532
資産運用収益	14,440	13,448	△991
うち利息・配当金等収入	8,565	10,753	+2,188
うち有価証券売却益	1,621	2,224	+602
うち特別勘定資産運用益	3,697	-	△3,697
その他経常収益	3,755	4,030	+275
経常費用	68,454	69,157	+703
うち保険金等支払金	33,808	38,309	+4,501
うち責任準備金等繰入額	22,712	14,963	△7,749
うち資産運用費用	1,689	5,240	+3,551
うち有価証券売却損	242	642	+400
うち有価証券評価損	4	41	+36
うち金融派生商品費用	55	538	+483
うち特別勘定資産運用損	-	961	+961
うち事業費	5,593	6,613	+1,020
経常利益	4,068	4,181	+113
特別利益	33	3	△30
特別損失	294	552	+258
契約者配当準備金繰入額	1,122	975	△147
税金等調整前当期純利益	2,685	2,657	△28
法人税等合計	1,260	871	△388
非支配株主に帰属する当期純利益	0	0	△0
親会社株主に帰属する当期純利益	1,424	1,785	+360

連結貸借対照表 (要約)

(億円)

	15/3末	16/3末	増減
資産の部合計	498,372	499,249	+877
うち現預金・コール	12,538	9,603	△2,935
うち買入金銭債権	2,658	2,392	△265
うち有価証券	411,054	415,600	+4,546
うち貸付金	38,981	37,155	△1,825
うち有形固定資産	12,170	11,788	△382
うち繰延税金資産	13	13	△0
負債の部合計	462,472	469,919	+7,446
うち保険契約準備金	425,470	438,940	+13,470
うち責任準備金	416,347	429,225	+12,878
うち退職給付に係る負債	3,313	4,438	+1,125
うち価格変動準備金	1,362	1,552	+189
うち繰延税金負債	6,433	2,707	△3,726
純資産の部合計	35,899	29,329	△6,569
うち株主資本合計	10,296	11,292	+996
うちその他の包括利益累計額合計	25,594	18,026	△7,567
うちその他有価証券評価差額金	25,282	18,400	△6,881
うち土地再評価差額金	△334	△164	+170

(1) 特別勘定資産運用損益は、責任準備金の戻入れ/繰入れで相殺されるため、経常利益に影響するものではありません

第一生命グループ業績 - グループ各社の業績

一生涯のパートナー

第一生命

	【第一生命】			【第一フロンティア生命】			【米プロテクトティブ】 ⁽¹⁾⁽²⁾			【豪TAL】 ⁽²⁾			【連結】		
	(億円)			(億円)			(百万米ドル)			(百万豪ドル)			(億円)		
	15/3期	16/3期	前期比	15/3期	16/3期	前期比	--	16/3期	前期比	15/3期	16/3期	前期比	15/3期	16/3期	前期比
経常収益	47,984	42,657	△11%	21,575	19,675	△9%	--	6,784	--	3,166	3,231	+2%	72,522	73,339	+1%
保険料等収入	32,663	28,666	△12%	18,997	18,730	△1%	--	4,689	--	2,745	3,020	+10%	54,327	55,860	+3%
資産運用収益	11,744	10,600	△10%	2,577	945	△63%	--	1,701	--	334	31	△91%	14,440	13,448	△7%
経常費用	43,897	39,215	△11%	21,773	19,379	△11%	--	6,384	--	2,982	3,079	+3%	68,454	69,157	+1%
保険金等支払金	27,181	26,813	△1%	4,962	4,957	△0%	--	4,020	--	1,808	1,949	+8%	33,808	38,309	+13%
責任準備金等繰入額	7,028	2,091	△70%	15,232	11,365	△25%	--	1,031	--	447	312	△30%	22,712	14,963	△34%
資産運用費用	1,312	2,739	+109%	520	1,971	+279%	--	440	--	38	72	+87%	1,689	5,240	+210%
事業費	3,985	4,041	+1%	952	972	+2%	--	692	--	579	636	+10%	5,593	6,613	+18%
経常利益(△は損失)	4,087	3,442	△16%	△197	296	--	--	399	--	184	152	△17%	4,068	4,181	+3%
特別利益	30	2	△91%	--	--	--	--	--	--	--	--	--	33	3	△91%
特別損失	272	522	+92%	21	29	+41%	--	--	--	--	0	--	294	552	+88%
純利益 ⁽³⁾ (△は損失)	1,521	1,291	△15%	△219	243	--	--	268	--	131	119	△9%	1,424	1,785	+25%

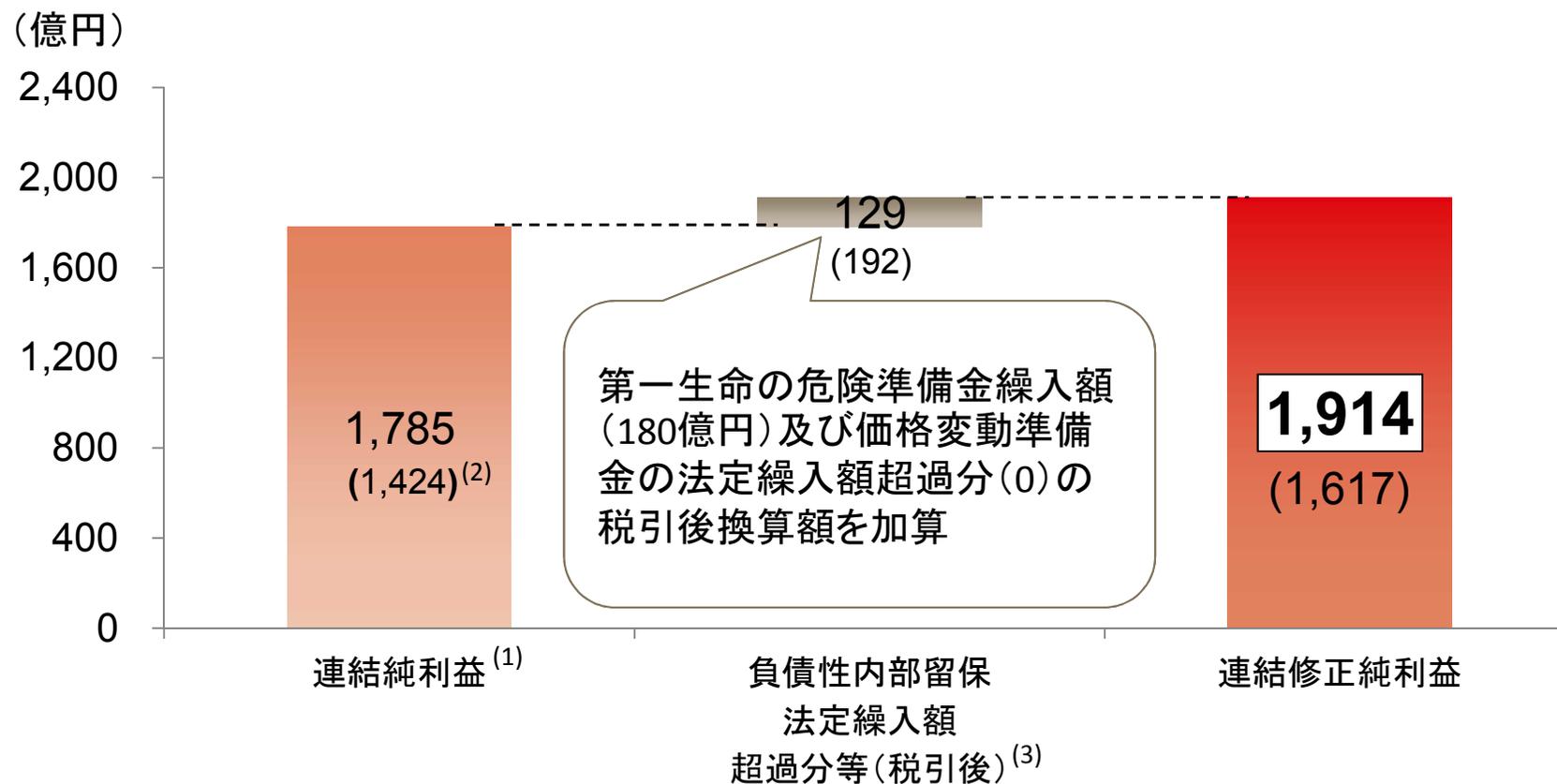
(1) 米プロテクトティブの数値は、2015年2-12月の実績です。

(2) 米プロテクトティブおよび豪TALの数値は、各国の会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示しています。連結の際には、それぞれ1米ドル=120.61円、1豪ドル=92.06円(15/3期)、86.25円(16/3期)で円換算しています。

(3) 連結純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益を記載しています。

第一生命グループ業績 - 16/3期連結修正純利益

- 第一生命グループでは、株主に実質的に帰属する利益指標として、連結純利益⁽¹⁾を調整した「連結修正純利益」を設定し、中期経営計画の経営目標としている。
- 16/3期の連結修正純利益は1,914億円と、15/3期の1,617億円から大幅に増加



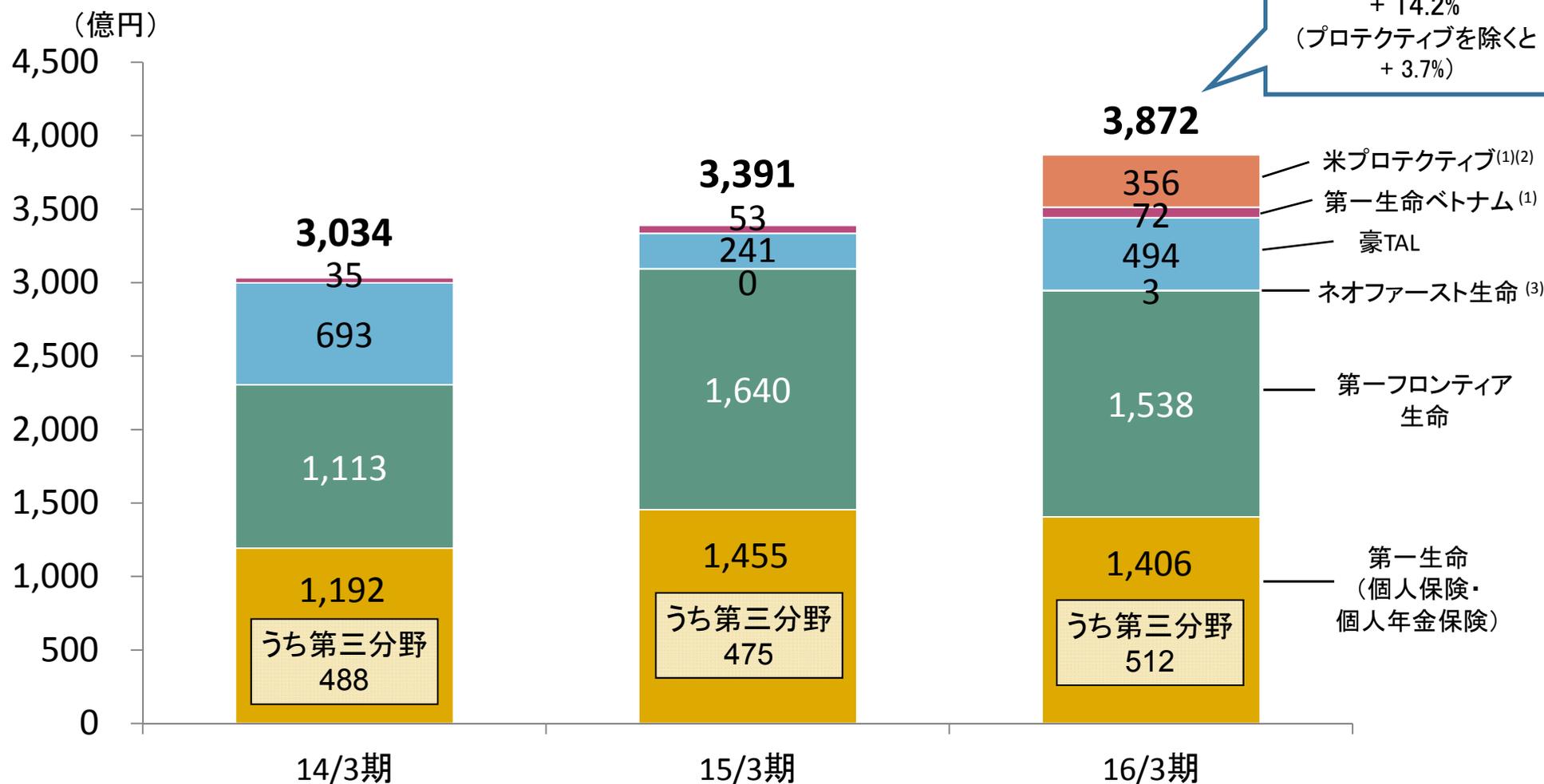
(1) 連結純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益を記載しています。

(2) 前年同期の数値を()内に記載しています。

(3) 負債性内部留保(危険準備金、価格変動準備金)繰入額のうち、法定繰入額を超過した分を加算する(取崩しの場合はマイナスする)等。金額はすべて税後換算(実効税率は27.92%を使用。(15/3期は28.76%))

第一生命グループ業績 - 新契約動向(年換算保険料ベース)

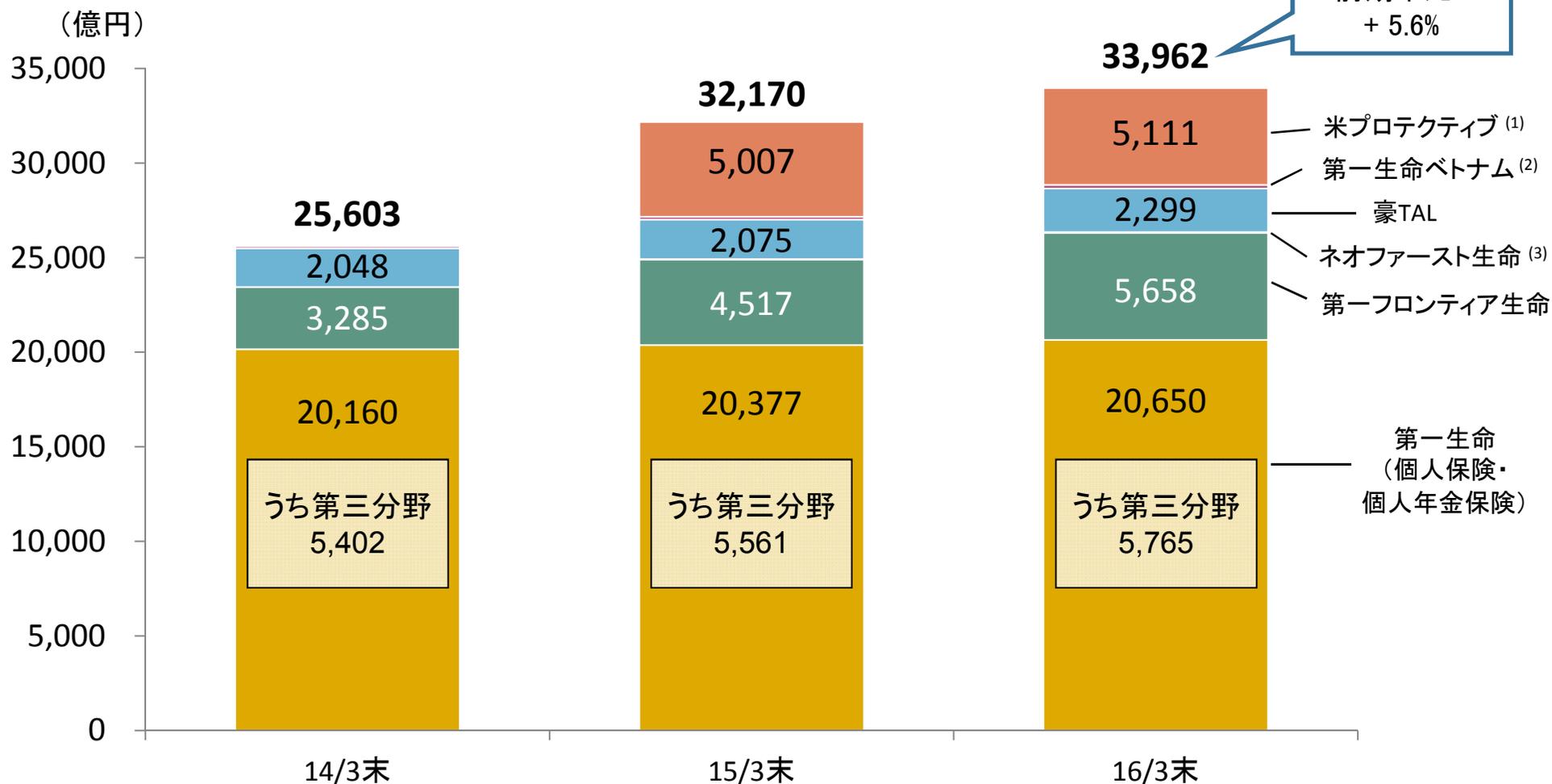
第一生命グループの新契約年換算保険料



(1) 米プロテクティブ、第一生命ベトナムの決算日は12月31日です。
 (2) 米プロテクティブの実績は、16/3期のみを記載しています。
 (3) ネオファースト生命の実績は15/3期7-3月、16/3期のみを記載しています。

第一生命グループ業績 - 保有契約動向(年換算保険料ベース)

第一生命グループの保有契約年換算保険料



(1) 米プロテクティブの決算日は12月31日です。15/3末の実績は完全子会社化(2015年2月1日)時点の数値を記載しています。

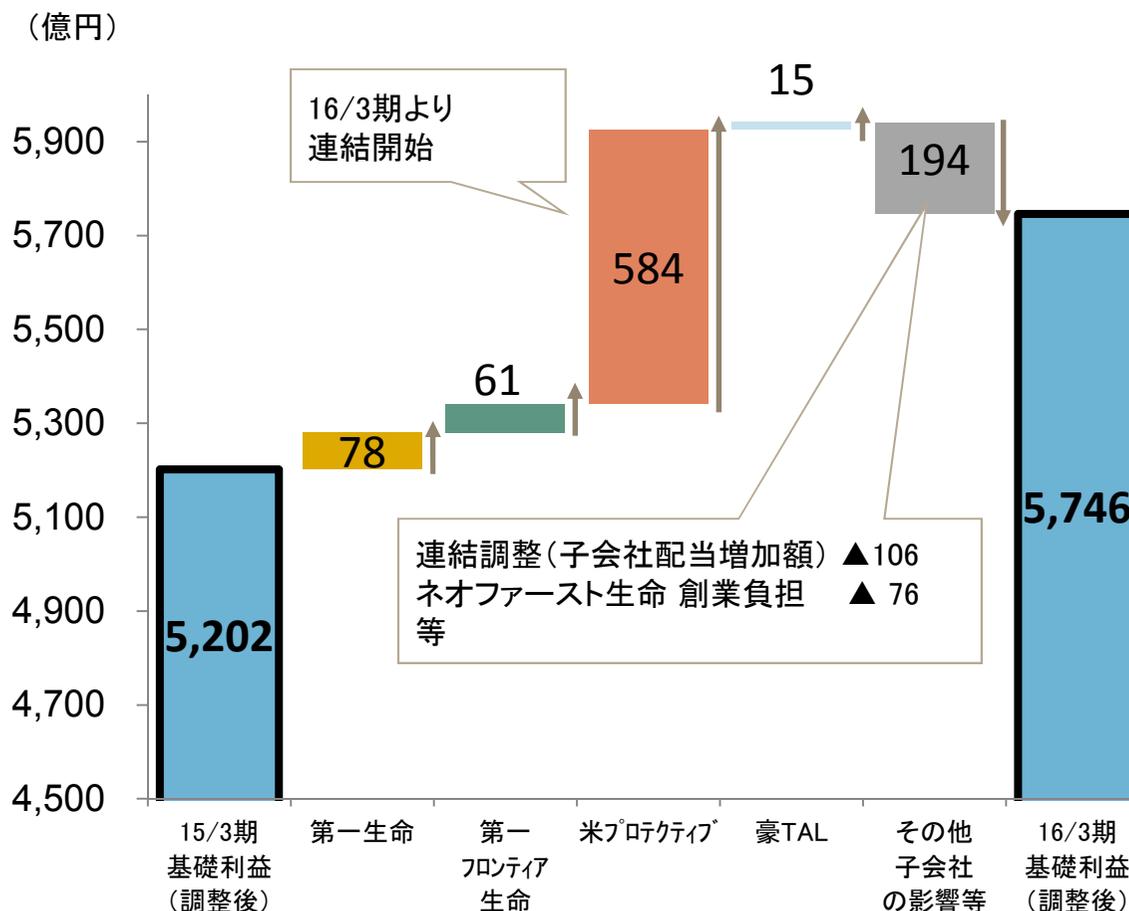
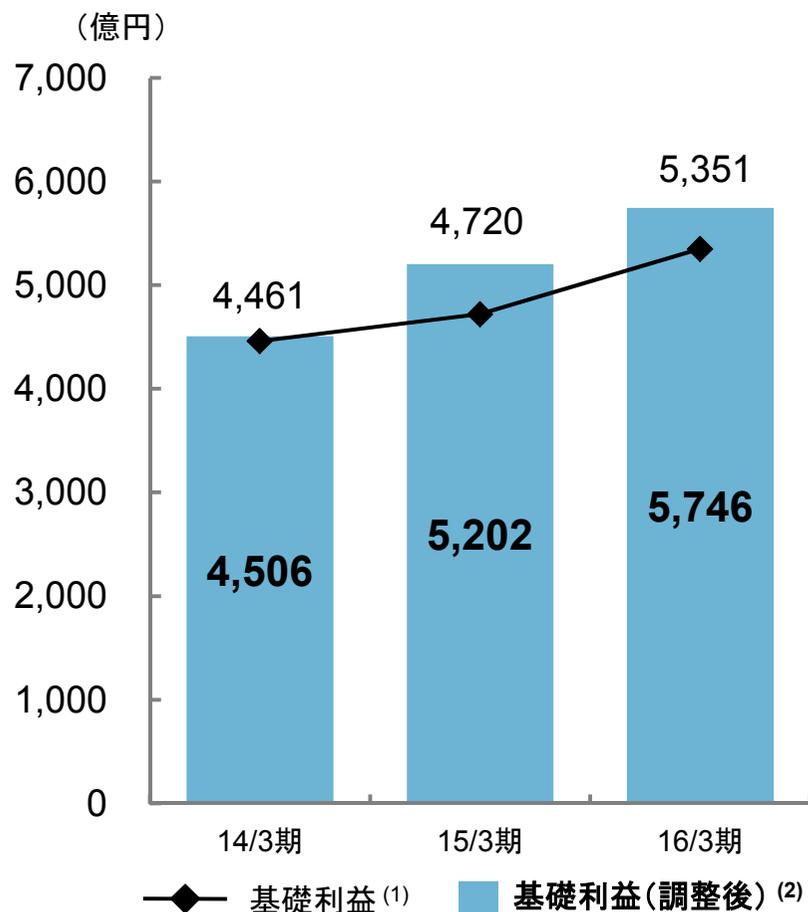
(2) 第一生命ベトナムの決算日は12月31日です。14/3末、15/3末、16/3末の実績はそれぞれ108億円、155億円、203億円です。

(3) ネオファースト生命については、完全子会社化以降の実績を記載しています。15/3末、16/3末の実績は、それぞれ37億円、39億円です。

第一生命グループ業績 - 基礎利益の状況

基礎利益 (1)(2)

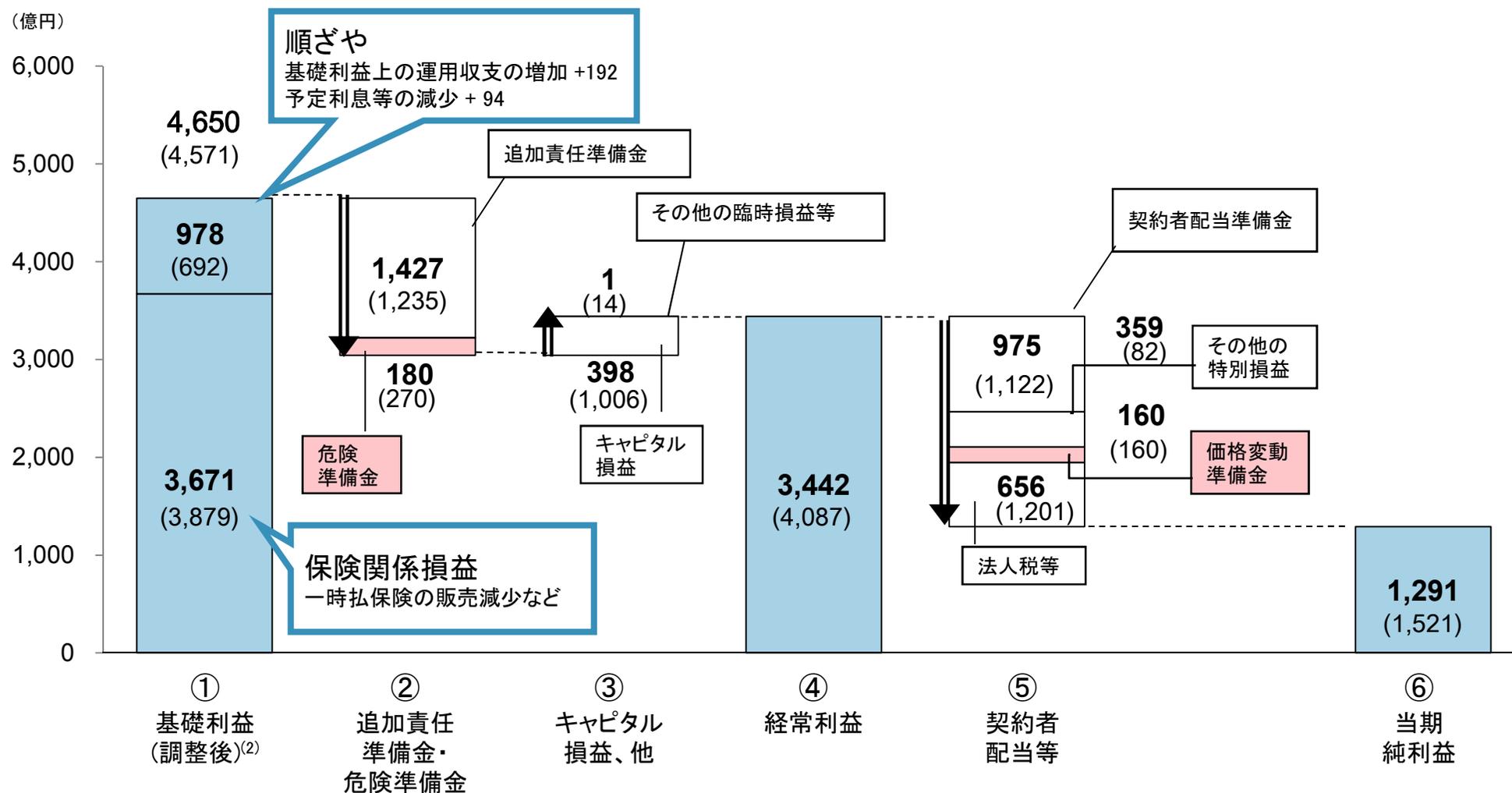
基礎利益(調整後)の変動要因 (1)(2)



(1) 第一生命、第一フロンティア生命、ネオファースト生命(15/3期7-3月、16/3期のみ)の基礎利益、米プロテクトティブ(16/3期のみ)の税引前営業利益、TALの修正利益(税引前換算)、第一生命ベトナムの税引前利益を合算し、第一生命グループ内の内部取引の一部を相殺。

(2) 基礎利益(調整後) = 基礎利益 ± 変額保険の最低保証リスクに係る責任準備金繰入(戻入)額 ± 定額保険の市場価格調整に係る責任準備金繰入(戻入)額。
ただし、市場価格調整(MVA)に係る責任準備金繰入/戻入のうち、為替差損益勘定で相殺され、経常利益に影響を及ぼさない部分を除く

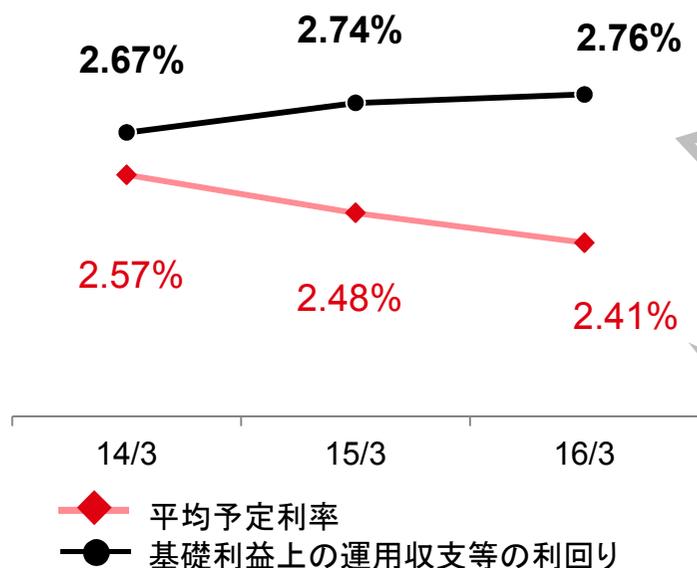
第一生命単体業績 - 当期純利益の状況⁽¹⁾



(1) 前年同期の数値を()内に記載しています。

(2) 基礎利益(調整後) = 基礎利益 ± 変額保険の最低保証リスクに係る責任準備金繰入(戻入)額 ± 定額保険の市場価格調整に係る責任準備金繰入(戻入)額

予定利率と基礎利回り

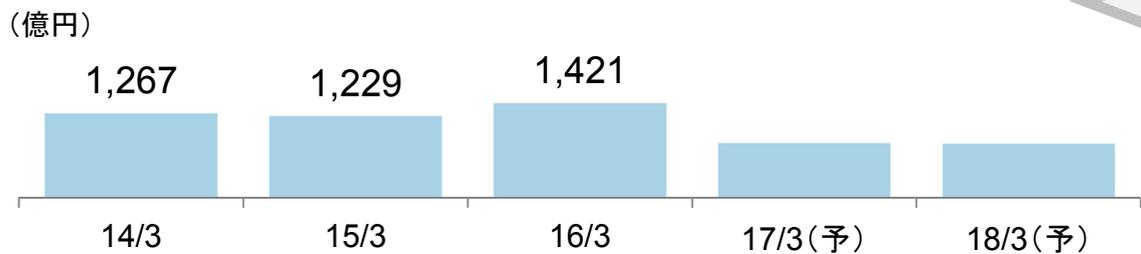


- 超低金利が継続する中にも、ヘッジ外債の積み増し等により利回りを確保し、**順ざやを維持**
- 円建確定利付き資産⁽¹⁾のデュレーションは14年台半ば

利息及び配当金等収入の内訳(16/3)

- 追加責任準備金の新規繰入れと、金利動向を踏まえた予定利率の設定により、平均**予定利率は下降トレンドを維持**

追加責任準備金 新規繰入額⁽²⁾



- 順ざやを踏まえ、マイナス金利となった現時点においても、追加責任準備金の繰入**計画に変更の予定は無い**

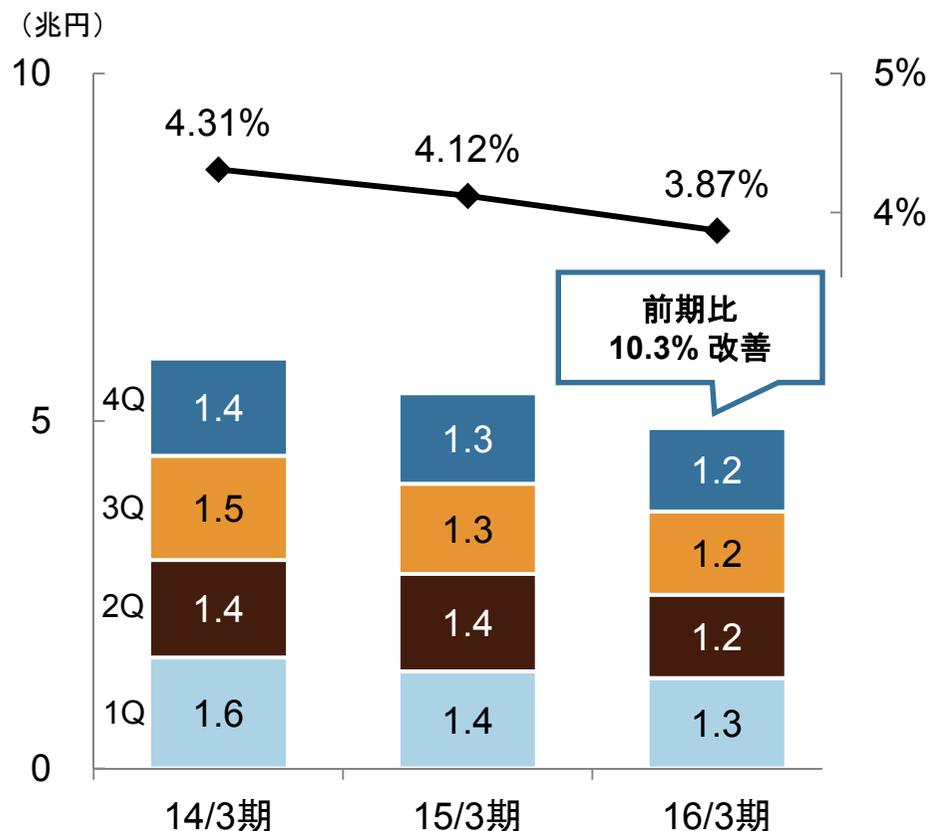
(1) 個人保険・個人年金にかかる円建の確定利付き資産の数値を記載
 (2) 1996年3月以前加入の終身保険のうち、払込満了後契約を対象とした金額を記載

第一生命単体業績 - 解約失効高、営業職員数および生産性

一生涯のパートナー

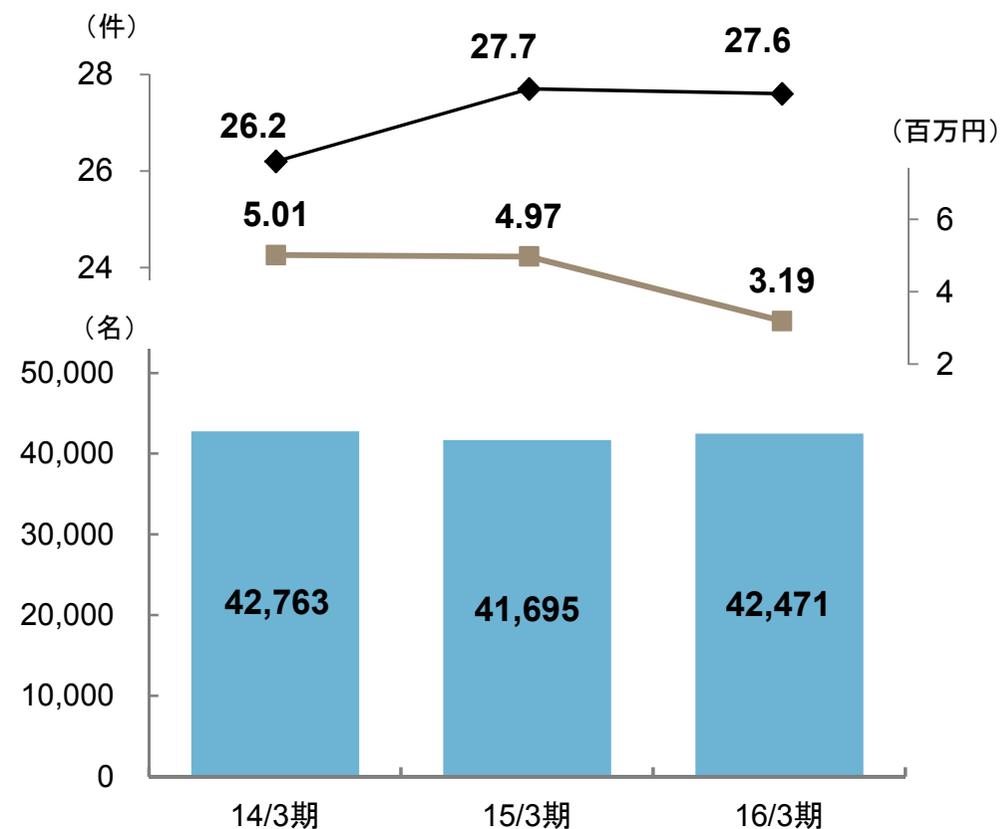
第一生命

解約失効高(個人保険・個人年金)



◆ 解約失効率(右軸)

営業職員数および生産性



■ 営業職員数⁽¹⁾

◆ 一人あたり新契約件数⁽²⁾

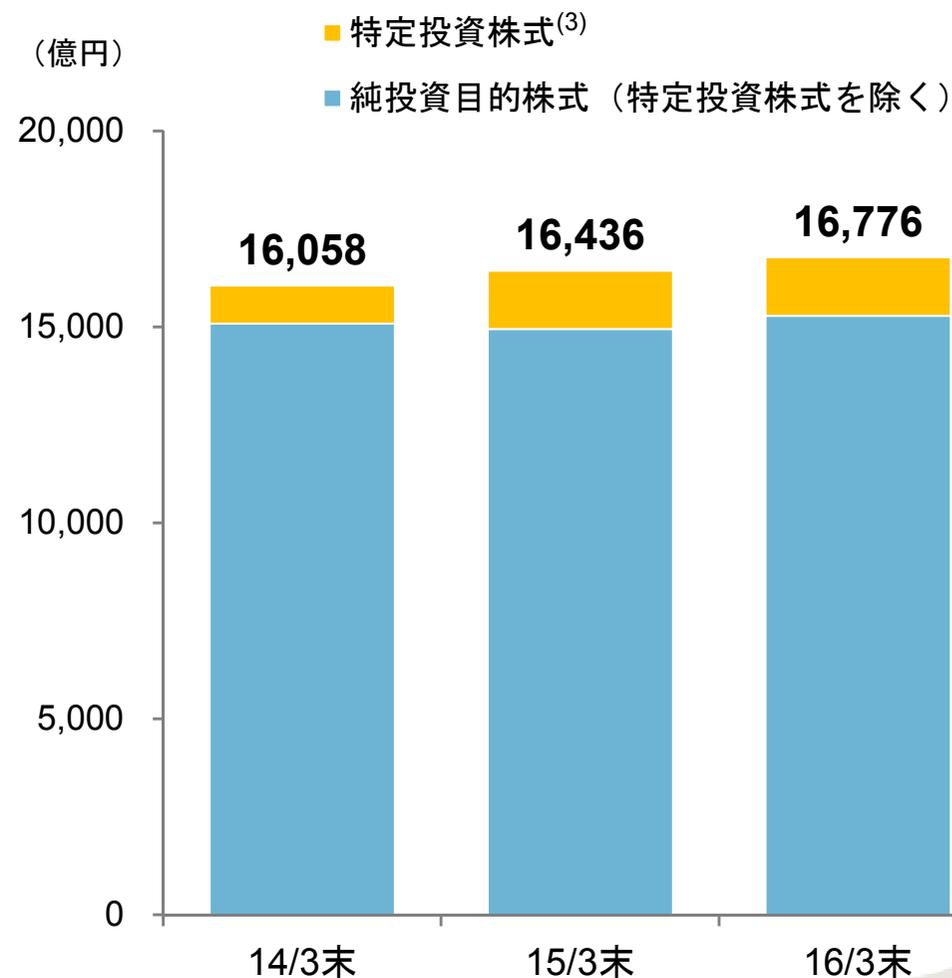
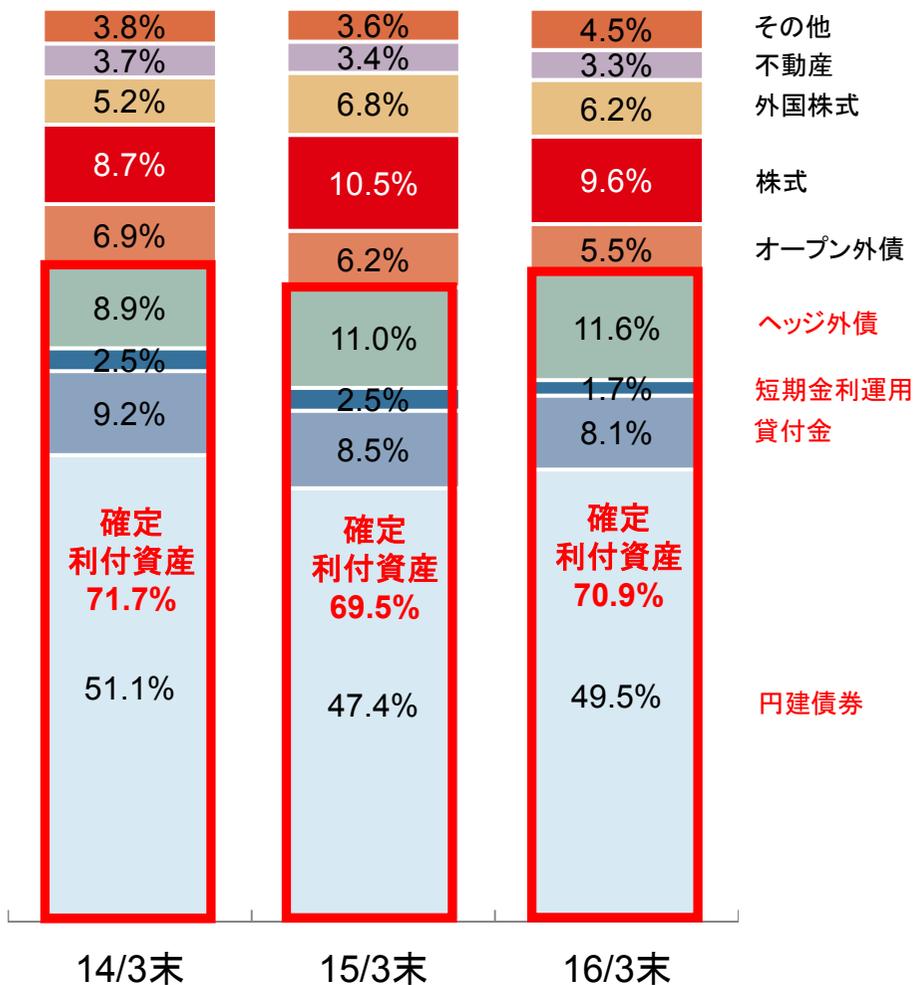
■ 一人あたり新契約価値(右軸)⁽²⁾

(1) 営業職員については、第一生命と委任契約を締結しかつ生命保険募集人登録をしている者のうち、その他補助的業務に従事する者を除いております。
 (2) 各期間における新契約価値及び新契約件数を分子、各期間の営業職員数(補助的業務に従事する者を除く)の平均値を分母として計算しています。

第一生命単体業績 - 一般勘定資産運用の状況 (1)

資産の構成(一般勘定) (1)

国内株式の簿価 (2)

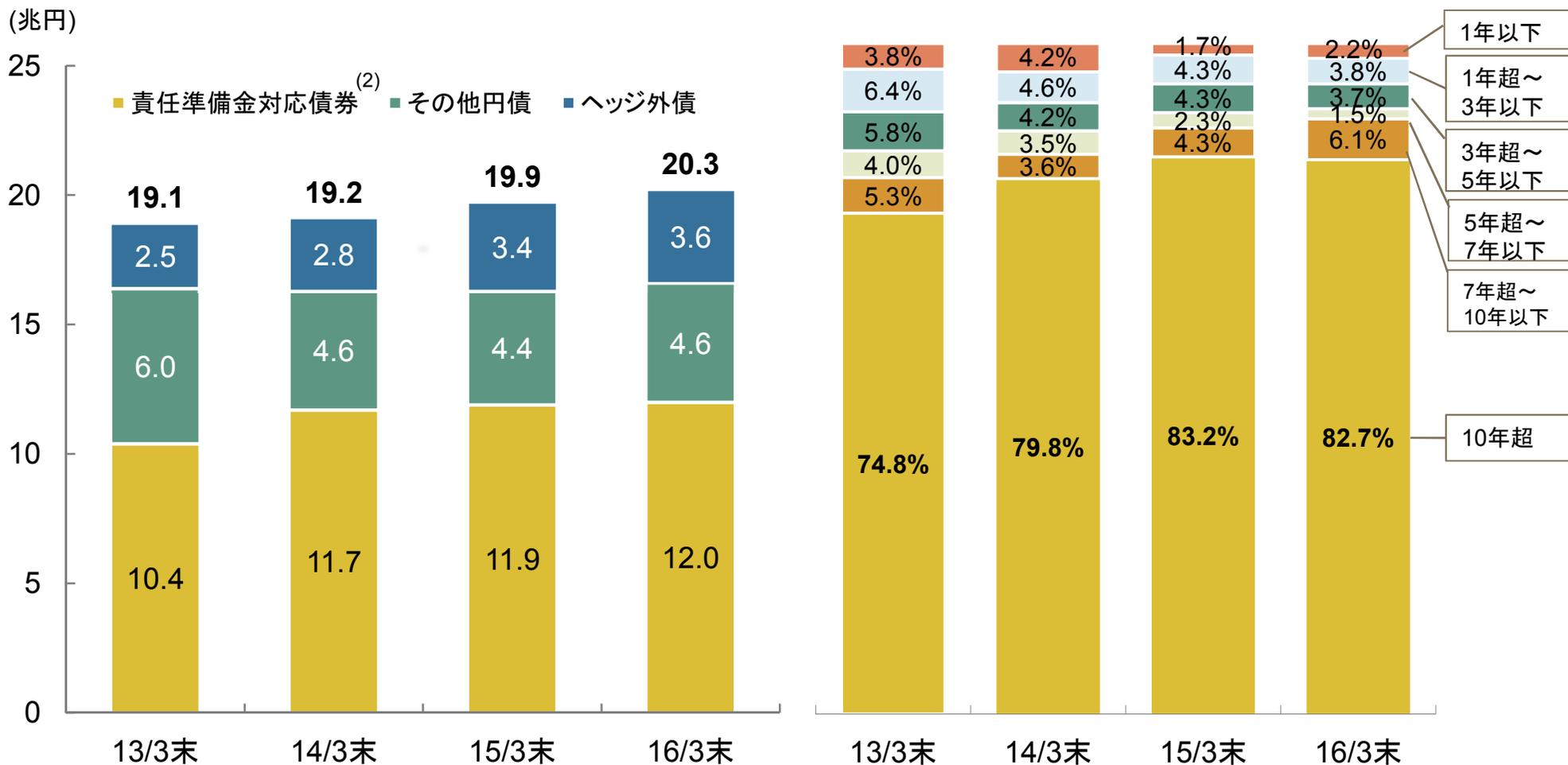


(1) 貸借対照表価額ベース
 (2) 国内株式のうち時価のあるもの(子会社・関連会社株式、非上場国内株式は除く)。
 (3) 純投資目的以外の目的で保有する株式(非上場国内株式、みなし保有株式は除く)。

第一生命単体業績 - 一般勘定資産運用の状況 (2)

債券の積み増し状況 (1)

国内債券の残存期間 (3)



(1) 一般勘定資産のうち円建債券とヘッジ外債を対象とする。簿価ベース

(2) 責任準備金対応債券とは、保険会社だけに認められた区分で、一定の要件を満たせば償却原価法による評価が認められている。

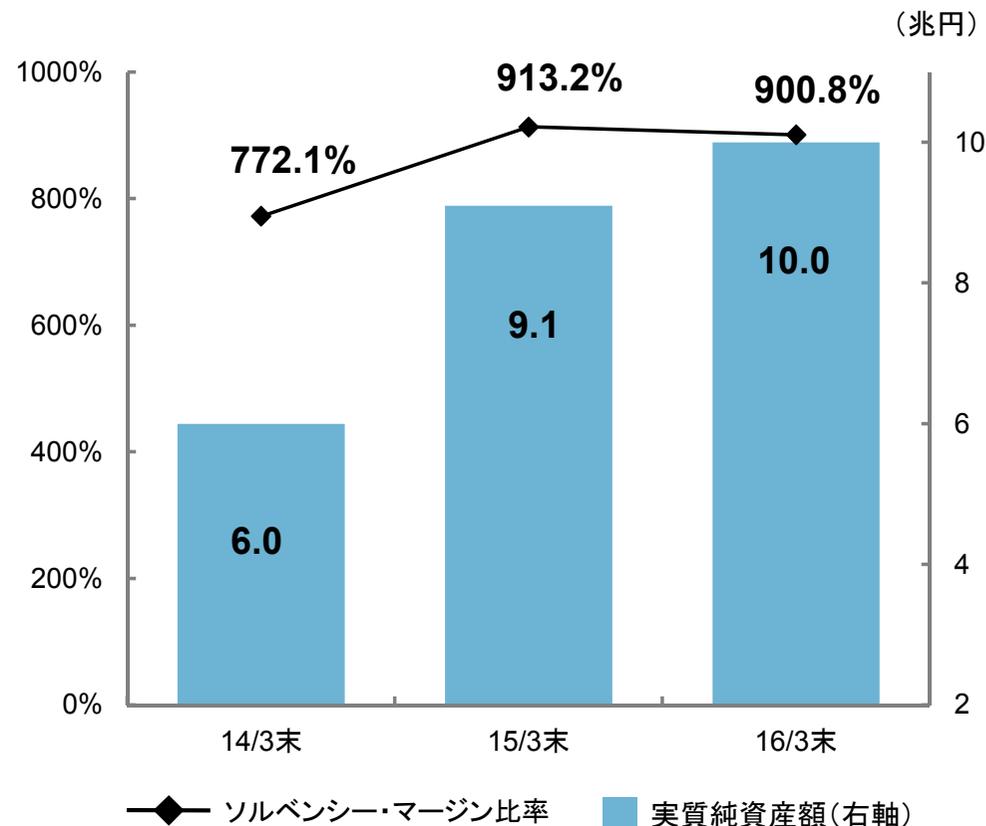
(3) 一般勘定資産のうち国内債券を対象とする。貸借対照表価額ベース

含み損益(一般勘定)

(億円)

	15/3末	16/3末	増減
有価証券	54,917	62,120	+7,203
国内債券	22,368	40,229	+17,861
国内株式	17,856	13,128	△4,728
外国債券	10,116	6,787	△3,329
外国株式	3,892	1,720	△2,171
不動産	755	1,303	+547
その他共計	55,507	63,346	+7,839

ソルベンシー・マージン比率および実質純資産額



<参考> 連結ソルベンシー・マージン比率:
2016年3月末 763.8%

収支の状況

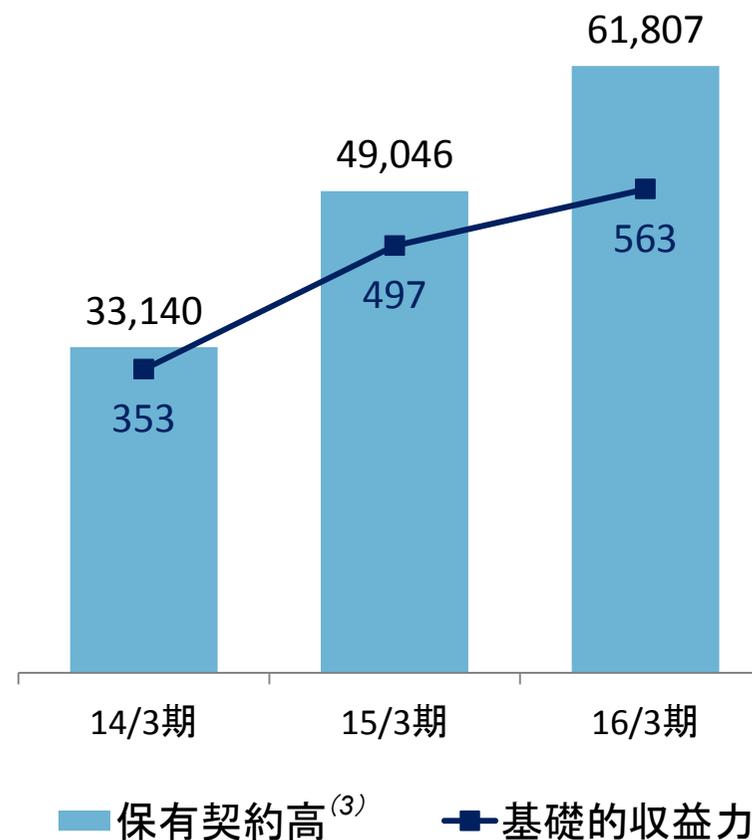
(億円)

	15/3期	16/3期
経常収益	21,575	19,675
うち保険料等収入 ⁽¹⁾	18,997	18,730
うち変額商品	1,979	1,582
うち円建定額商品	2,813	3,209
うち外貨建定額商品	12,362	12,003
うち資産運用収益	2,577	945
うち最低保証リスクに対するヘッジ利益(A)	-	23
経常費用	21,773	19,379
うち責任準備金等繰入額	15,232	11,365
うち最低保証リスクに係る責任準備金繰入額(B)	24	315
うち市場価格調整(MVA)に係る責任準備金繰入額(C) ⁽²⁾	469	84
うち危険準備金繰入額(△は戻入)(D)	130	△ 56
うち資産運用費用	520	1,971
うち最低保証リスクに対するヘッジ損失(E)	92	-
経常利益(△は損失)	△ 197	296
純利益(△は損失)	△ 219	243
(参考) 基礎的収益力 純利益 - (A) + (B) + (C) + (D) + (E)	497	563

- (1) 定額部分と変額部分を組み合わせた商品は定額商品に分類
 (2) 市場価格調整(MVA)に係る責任準備金繰入/戻入のうち、為替差損益勘定で相殺されて、経常利益に影響を及ぼさない部分を除く

保有契約高と基礎的収益力

(億円)



- (3) 保有契約高は各期間の末日時点

- 危険差益、運用収益が良好に推移し、税引前営業利益は約484百万ドル、純利益は約268百万ドルと、予算を上回る実績。

主要業績

(百万米ドル)

	16/3期
生保事業	57.4
買収事業	194.6
年金事業	180.2
ステーブルバリュー事業	56.5
アセットプロテクション事業	20.6
コーポレート	△ 25.0
税引前営業利益 Pre-tax Operating Earnings	484.4
法人税等	△ 131.5
キャピタル損益(運用収支)	△ 185.1
キャピタル損益(金融派生商品損益)	100.5
当期利益	268.2

<参考>

	15/12末
為替レート(米ドル)	120.61

セグメント業績動向

【生保事業】

一時的な支出の増加と想定以上の解約などにより、営業利益は予算未達。

【買収事業】

想定以上の利差益と危険差益があり、営業利益は予算超過。

【年金事業】

定額年金における運用収益が想定以上となったことにより、営業利益はわずかに予算超過。

【ステーブルバリュー事業】

モーゲージローン関連の収益増加に伴う利差益の拡大により、営業利益は予算超過。

【アセットプロテクション事業】

主力損保商品(主に車両保険)の好調な販売により、営業利益は予算超過。

(1) 米プロテクティブの決算日は12月31日です。16/3期の実績は、子会社化(2015年2月1日)以降、同年12月までの11ヶ月間の実績です。
 (2) 税引前営業利益(Pre-tax Operating Earnings)とは、当期利益から資産運用やデリバティブにおけるキャピタル損益を控除した利益指標です。

主要業績

	(百万豪ドル)		
	15/3期	16/3期	前年比
経常収益 ⁽²⁾	3,166	3,231	+2%
うち保険料等収入 ⁽²⁾	2,745	3,020	+10%
経常利益 ⁽²⁾	184	152	△17%
純利益(A) ⁽²⁾	131	119	△9%
修正額(B)	15	48	
うち負債割引率の変化	△ 25	△ 7	
うち償却負担	21	20	
その他	18	36	
修正利益=(A)+(B) (Underlying profit)	146	168	+15%

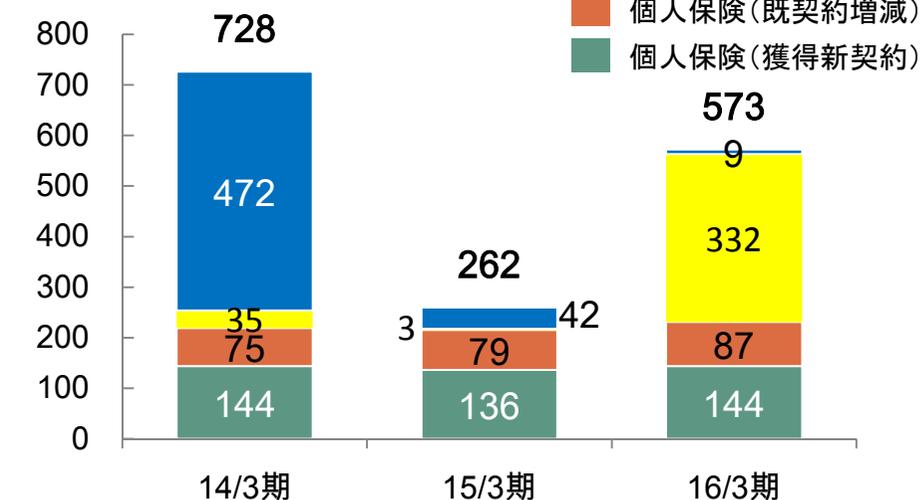
<参考>

	15/3末	16/3末
為替レート(豪ドル)	92.06円	86.25円

- (1) 連結対象の豪持株会社(TAL Dai-ichi Life Australia Pty Ltd)に係る数値
 (2) オーストラリアの会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示しております(修正額及び修正利益を除く)

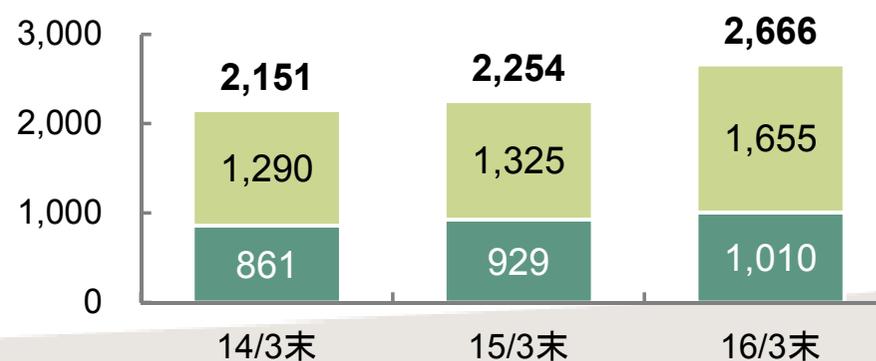
新契約年換算保険料

(百万豪ドル)



保有契約年換算保険料

(百万豪ドル)



第一生命グループ業績予想 - 2017年3月期業績予想

- 連結経常収益は、国内事業において貯蓄性商品販売をコントロールしていることから、減収予想。
- 連結純利益⁽¹⁾は、海外事業の順調な利益拡大を見込み、増益予想。配当予想も40円に引き上げ。

(億円)

	16/3期	17/3期(予)	増減
連結経常収益	73,339	64,600	△ 8,739
第一生命単体 ⁽²⁾	42,657	37,960	△ 4,697
第一フロンティア	19,675	14,010	△ 5,665
プロテクティブ(百万米ドル)	6,784	8,460	+ 1,675
TAL(百万豪ドル)	3,231	3,900	+ 668
連結経常利益	4,181	4,060	△ 121
第一生命単体	3,442	3,240	△ 202
第一フロンティア	296	210	△ 86
プロテクティブ(百万米ドル)	399	460	+ 60
TAL(百万豪ドル)	152	180	+ 27
連結純利益⁽¹⁾	1,785	1,970	+ 184
第一生命単体	1,291	1,330	+ 38
第一フロンティア	243	150	△ 93
プロテクティブ(百万米ドル)	268	300	+ 31
TAL(百万豪ドル)	119	120	+ 0
1株当たり配当金	35円	40円	+5円

(1) 連結純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益を記載しています。

(2) 持株会社体制移行に伴う第一生命単体の考え方につきましては、詳しくは19ページをご覧ください。

(参考: 基礎利益)

第一生命グループ	5,351	5,000程度	△ 351
第一生命単体	4,654	3,800程度	△ 854

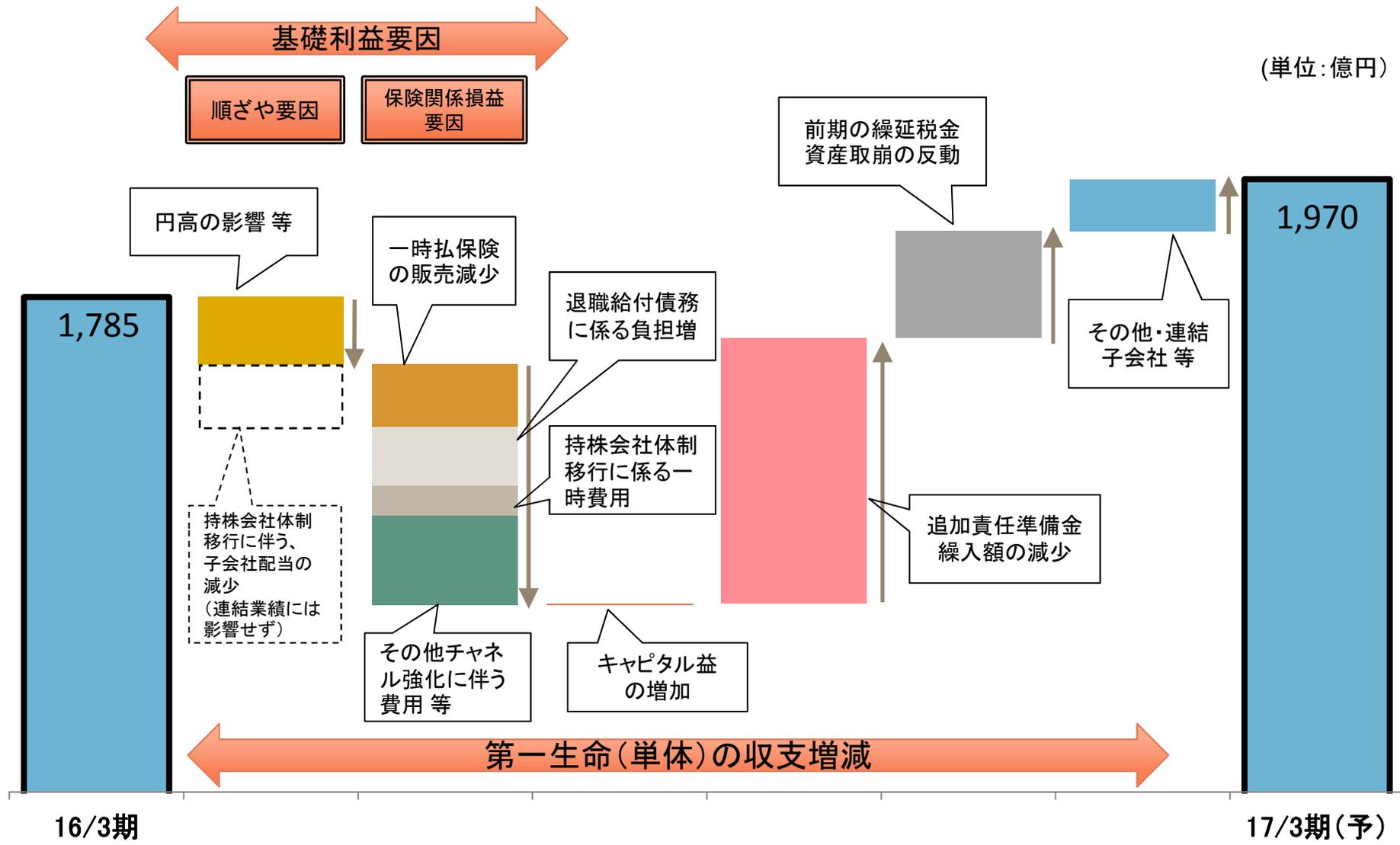
持株会社体制への移行に伴う、第一生命単体の収支状況の開示について

- 当プレゼンテーション資料で示している第一生命単体の2017年3月期業績予想は、現在の第一生命単体(下図①)の上期業績予想に、持株会社体制移行後の第一生命保険株式会社(同④)の下期業績予想を合算したものです。第一生命分割準備株式会社(同②)が計上する損益は限定的となる見込みです。
- 現在の第一生命単体の利息配当金等収入の一部には子会社・関連会社から支払われた配当が含まれています。持株会社体制への移行に伴い、第一生命ホールディングス株式会社傘下となる第一生命をはじめとする子会社・関連会社の配当は、第一生命ホールディングスの利息配当金等収入として計上されます。その分第一生命単体の収益は減少しますが、連結収支に対する影響はありません。
- 第一生命ホールディングスの収支は、経常収益が子会社からの配当収入や経営管理料が主要項目となり、経常費用は持株会社運営費用が主要項目となります。第一生命ホールディングスの17年3月期の業績予想は(下図③)で示した通りです。
- なお、上場会社単体としての2017年3月期業績予想につきましては、34ページをご覧ください。



(億円)		(億円)		(億円)		(億円)	
第一生命単体 2017年3月期 業績予想		【現】第一生命(保険会社)① 2016年4月1日～2016年9月30日		【新】第一生命(保険会社)④ 2016年10月1日～2017年3月31日		第一生命ホールディングス (持株会社)③ 2016年10月1日～2017年3月31日	
経常収益	37,960	=		19,290	+	18,670	180
経常利益	3,240			1,660		1,570	120
当期利益	1,330			680		650	120

連結純利益⁽¹⁾の増減要因分析(一時項目の影響)



(1) 連結純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益を記載しています。

2016年3月末EEVの計算に際して、日本円金利の超長期ゾーンの補外手法について、従来の日本円スワップ・レートのイールド・カーブを勘案した方法から終局金利を用いた方法に変更しています。一貫性のある評価を行うため、2015年3月末EEVおよび2015年3月期新契約価値についても同様の方法により再評価しています。

- 国内金利下落の影響が大きく、2016年3月末のグループEEVは前期末比で減少
- 第一生命を除くグループ各社のEEVは増加

第一生命グループのEEV

(億円)

	15/3末	15/3末 再評価後	16/3末	増減 ⁽¹⁾
EEV	57,796	59,876	46,461	△13,415
修正純資産	55,408	55,408	62,873	+7,465
保有契約価値	2,388	4,468	△ 16,412	△20,881

	15/3期	15/3期 再評価後	16/3期	増減 ⁽¹⁾
新契約価値	2,740	2,861	2,161	△700

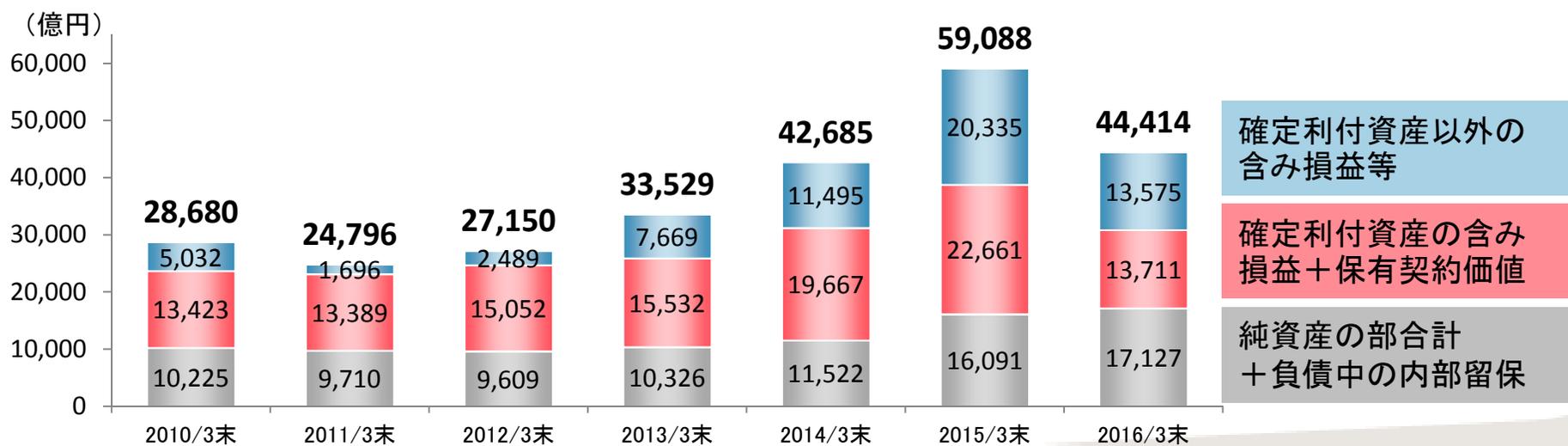
(1) 再評価後の前期数値からの増減を記載しております。

EEV - ヨーロピアン・エンベディッド・バリュー (2)

第一生命(単体)					資産・負債の対応を考慮した再分類		
	15/3末	15/3末 再評価後	16/3末	増減 ⁽¹⁾		15/3末 再評価後	16/3末
EEV	57,008	59,088	44,414	△14,673	EEV	59,088	44,414
修正純資産	57,918	57,918	64,833	+6,914	確定利付資産 ⁽²⁾ 以外の含み損益等	20,335	13,575
保有契約価値	△ 910	1,169	△ 20,419	△21,588	確定利付資産の含み損益+保有契約価値	22,661	13,711
					純資産の部合計+負債中の内部留保	16,091	17,127

	15/3期	15/3期 再評価後	16/3期	増減 ⁽¹⁾
新契約価値	1,981	2,102	1,346	△ 755

第一生命(単体)のEEV推移【資産・負債の対応を考慮した再分類】



(1) 再評価後の前期数値からの増減を記載しております。
 (2) 「確定利付資産」は、円建債券、ヘッジ外債、貸付金等としています。

EEV - ヨーロピアン・エンベディッド・バリュー (3)

第一フロンティア生命

(億円)

	15/3末	15/3末 再評価後	16/3末	増減 ⁽¹⁾
EEV	2,527	2,527	3,032	+504
修正純資産	1,882	1,882	1,838	△43
保有契約価値	645	645	1,194	+548

	15/3期	15/3期 再評価後	16/3期	増減 ⁽¹⁾
新契約価値	586	586	532	△53

ネオファースト生命

(億円)

	15/3末	16/3末	増減
EEV	-	414	-
修正純資産	-	277	-
保有契約価値	-	136	-

プロテクティブ

(億円)

	15/2/1	15/12末	増減
EEV	5,029	5,512	+483
修正純資産	3,517	4,149	+632
保有契約価値	1,512	1,363	△148

	-	15/2-12月 累計	増減
新契約価値	-	56	-

プロテクティブ(米ドルベース)

(百万米ドル)

	15/2/1	15/12末	増減
EEV	4,253	4,570	+317
修正純資産	2,974	3,440	+465
保有契約価値	1,278	1,130	△148

	-	15/2-12月 累計	増減
新契約価値	-	46	-

15/2/1 EEV: 15/1末の為替レート(1米ドル=118.25円)を使用

15/12末EEV・15/2-12月新契約価値: 15/12末為替レート(1米ドル=120.61円)を使用

(1) 再評価後の前期数値からの増減を記載しております。

EEV - ヨーロピアン・エンベディッド・バリュー (4)

	15/3末	16/3末	増減
EEV	2,378	2,673	+294
修正純資産	1,237	1,359	+122
保有契約価値	1,141	1,313	+171

	15/3末	16/3末	増減
EEV	2,583	3,099	+515
修正純資産	1,344	1,576	+232
保有契約価値	1,239	1,522	+282

	15/3期	16/3期	増減
新契約価値	173	225	+52

	15/3期	16/3期	増減
新契約価値	188	262	+73

15/3末EEV・15/3期の新契約価値: 15/3末の為替レート(1豪ドル=92.06円)を使用
 16/3末EEV・16/3期の新契約価値: 16/3末の為替レート(1豪ドル=86.25円)を使用

【参考・試算値】当社資産構成を勘案した保有契約価値

- 市場整合的手法によるEVでは、保有契約価値もリスク・フリー・レートで評価し、資産運用リスクを調整。
- 当社はALMに基づいて、リスク・フリー・レート超の利回り(スプレッド)を得るべく資産ポートフォリオを構成しているが、それが保有契約価値の運用利回りには反映されない仕組みとなっている。
- 当社の資産構成を勘案した第一生命(単体)の保有契約価値の試算値は3,053億円となる。

16/3末保有契約価値	(参考・試算値)
第一生命単体▲20,419億円	3,053億円

- 運用利回りとして、過去の市場データから観測された資産種類ごとの時価ベースの超過収益を、当社の直近の資産占率で加重平均して適用(1.05%)
- 一方、超過収益が実現しないリスクを反映するため、株主資本コストと負債調達コストを考慮し、加重平均資本コスト法(WACC)を用いて割引率を算出。(5.54%)

- なお、本試算は、EV算出において一般的なものではなく、確立された手法ではない。また、本試算は保有契約価値のみを試算したもので、必ずしもEV全体が保有契約価値の増加と同額増加することを意味するものではない。

(参考)リスクフリーレートの補外方法の高度化

- 当社では、市場における超長期ゾーンの流動性が十分でないことから、EEVの計算および資本充足率計測モデルにおける、リスクフリーレートの補外方法を高度化
- 国際的な資本規制等の検討において、数年来、検討が進められていた終局金利を採用

保険契約の評価として有用な終局金利

- 終局金利とは、将来の短期金利が一定の水準に収束するという考え方。
 - 生命保険は超長期の保障を提供するものであるため、その評価にあたっては超長期ゾーンの金利前提の設定が必要。
 - 当社では、従来、EV計算にあたり、超長期ゾーンの金利前提にスワップレート等を採用。
 - しかし、昨今、参照する市中金利が大きく変動するなど安定性が損なわれており、企業価値評価の妥当性に影響
 - 当社では、内部モデルの高度化の一環として、超長期ゾーンの金利前提を終局金利へと変更

終局金利は国際的に導入されている

- 欧州ソルベンシー II において、終局金利を採用。
- 欧州のEV開示においても、終局金利は広く採用。
- 国際的な資本規制の検討 (ICSフィールド・テスト) においても、終局金利を採用。

欧州ソルベンシーII :

EU (欧州連合) における、経済価値ベースのソルベンシー評価を前提とした保険監督規制の枠組み。2016年1月より導入されている。

ICS (Insurance Capital Standard) :

保険監督者国際機構 (IAIS) が策定中の「国際的に活動する保険会社グループ (IAIG) の監督のための共通枠組み」であるコンプレームの一部として、2019年末までに策定が予定されている資本規制。当社グループは、IAIGに認定されICSの対象となる見込み。IAISはフィールドテストを実施し、ボランティア参加者からの実データを収集することで、ICS策定の参考としている。フィールドテストではIAISから仕様書が提示され、計算手法が指定されている。

参考データ

参考データ - 第一生命グループ業績 - グループ各社の貸借対照表

	【第一生命】 (億円)	【第一フロンティア生命】 (億円)	【米プロテクトティブ】 ⁽¹⁾ (百万米ドル)	【豪TAL】 ⁽¹⁾ (百万豪ドル)	【その他】 ⁽²⁾ (連結調整仕訳含む) (億円)	【連結】 ⁽²⁾ (億円)
	16/3末	16/3末	15/12末	16/3末		16/3末
資産の部合計	358,949	61,322	68,493	7,043	△9,708	499,249
うち現預金・コール	6,452	1,184	397	1,358	314	9,603
うち有価証券	302,501	58,365	50,843	2,859	△9,055	415,600
うち貸付金	28,260	-	7,360	-	17	37,155
うち有形固定資産	11,641	2	113	0	5	11,788
うち無形固定資産	816	27	2,663	1,207	△1,023	4,073
うちのれん	-	-	732	786	△1,013	548
うちその他の無形固定資産	220	0	1,915	420	△1	2,892
うち再保険貸	44	725	165	148	△39	1,058
負債の部合計	327,917	60,463	63,912	4,890	235	469,919
うち保険契約準備金	306,352	59,481	57,893	3,491	269	438,940
うち再保険借	6	209	244	332	△38	758
うち社債	2,157	-	2,238	-	-	4,856
うちその他負債	10,950	534	2,409	978	△368	14,866
純資産の部合計	31,031	859	4,581	2,152	△9,943	29,329
うち株主資本合計	11,755	427	5,822	2,152	△9,769	11,292
うち資本金	3,431	1,175	0	1,630	△2,581	3,431
うち資本剰余金	3,437	675	5,554	-	△7,510	3,301

(1) 米プロテクトティブ、豪TALの数値は、それぞれ米国、オーストラリアの会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示しております。連結の際には、1米ドル=120.61円、1豪ドル=86.25円で、それぞれ円換算しています。

(2) その他および連結の数値には、本表に記載以外の連結各社に関する数値等が含まれています。

参考データ - 第一生命(単体)財務諸表(要約)

一生涯のパートナー

第一生命

損益計算書(1)

(億円)

	15/3期	16/3期	増減
経常収益	47,984	42,657	△5,326
保険料等収入	32,663	28,666	△3,997
資産運用収益	11,744	10,600	△1,144
うち利息・配当金等収入	8,023	8,022	△1
うち有価証券売却益	1,465	2,119	+653
うち金融派生商品収益	94	-	△94
うち特別勘定資産運用益	1,832	-	△1,832
その他経常収益	3,576	3,391	△185
経常費用	43,897	39,215	△4,681
うち保険金等支払金	27,181	26,813	△367
うち責任準備金等繰入額	7,028	2,091	△4,937
うち資産運用費用	1,312	2,739	+1,427
うち有価証券売却損	244	624	+380
うち有価証券評価損	4	8	+4
うち金融派生商品費用	-	541	+541
うち特別勘定資産運用損	-	315	+315
うち事業費	3,985	4,041	+55
経常利益	4,087	3,442	△645
特別利益	30	2	△27
特別損失	272	522	+250
契約者配当準備金繰入額	1,122	975	△147
税引前純利益	2,723	1,947	△776
法人税等合計	1,201	656	△545
純利益	1,521	1,291	△230

貸借対照表

(億円)

	15/3末	16/3末	増減
資産の部合計	368,287	358,949	△9,338
うち現預金・コール	10,187	6,452	△3,734
うち買入金銭債権	2,597	2,332	△265
うち有価証券	306,733	302,501	△4,232
うち貸付金	30,292	28,260	△2,032
うち有形固定資産	12,032	11,641	△391
負債の部合計	332,774	327,917	△4,856
うち保険契約準備金	304,496	306,352	+1,855
うち責任準備金	298,409	299,842	+1,432
うち危険準備金	5,580	5,760	+180
うち退職給付引当金	3,894	3,779	△115
うち価格変動準備金	1,324	1,484	+160
うち繰延税金負債	4,138	1,386	△2,751
純資産の部合計	35,513	31,031	△4,481
うち株主資本合計	11,073	11,755	+682
うち評価・換算差額等合計	24,432	19,266	△5,165
うちその他有価証券評価差額金	24,886	19,469	△5,417
うち土地再評価差額金	△334	△164	+170

(1) 特別勘定資産運用損益は、責任準備金の戻入れ/繰入れで相殺されるため、経常利益に影響するものではありません

参考データ - 第一フロンティア生命財務諸表(要約)

一生涯のパートナー

第一生命

損益計算書

(億円)

	15/3期	16/3期	増減
経常収益	21,575	19,675	△1,900
うち保険料等収入	18,997	18,730	△267
うち資産運用収益	2,577	945	△1,632
経常費用	21,773	19,379	△2,394
うち保険金等支払金	4,962	4,957	△4
うち責任準備金等繰入額	15,232	11,365	△3,867
うち資産運用費用	520	1,971	+1,450
うち事業費	952	972	+20
経常利益(△は損失)	△197	296	+494
特別損益	△21	△29	△8
税引前純利益(△は損失)	△219	266	+485
法人税等合計	0	23	+23
純利益(△は損失)	△219	243	+462

貸借対照表

(億円)

	15/3末	16/3末	増減
資産の部合計	49,372	61,322	+11,950
うち現預金・コール	813	1,184	+371
うち有価証券	47,154	58,365	+11,211
負債の部合計	48,798	60,463	+11,665
うち保険契約準備金	48,116	59,481	+11,365
うち責任準備金	48,070	59,411	+11,340
うち危険準備金	1,203	1,146	△56
純資産の部合計	574	859	+285
うち株主資本合計	184	427	+243
資本金	1,175	1,175	-
資本剰余金	675	675	-
利益剰余金	△1,665	△1,422	+243

参考データ - 米プロテクトィブ財務諸表(要約)

一生のパートナー

第一生命

損益計算書 (1)(2)

(百万米ドル)

	16/3期
経常収益	6,784
保険料等収入	4,689
資産運用収益	1,701
その他経常収益	393
経常費用	6,384
保険金等支払金	4,020
責任準備金等繰入額	1,031
資産運用費用	440
事業費	692
その他経常費用	200
経常利益	399
法人税等合計	131
純利益	268

貸借対照表 (1)(2)

(百万米ドル)

	15/2/1	15/12末	増減
資産の部合計	70,966	68,493	△2,473
うち現預金	463	397	△65
うち有価証券	53,287	50,843	△2,443
うち貸付金	7,333	7,360	+27
うち有形固定資産	111	113	+2
うち無形固定資産	2,712	2,663	△49
うちのれん	735	732	△3
うちその他の無形固定資産	1,959	1,915	△44
うち再保険貸	202	165	△36
負債の部合計	65,412	63,912	△1,500
うち保険契約準備金	58,844	57,893	△950
うち再保険借	252	244	△8
うち社債	2,311	2,238	△73
うちその他負債	2,338	2,409	+71
純資産の部合計	5,554	4,581	△972
うち株主資本合計	5,554	5,822	+268
うちその他の包括利益累計額合計	-	△1,241	△1,241

(1) 米国の会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示しております。

(2) 米プロテクトィブの決算日は12月31日です。16/3期の実績は、子会社化(2015年2月1日)以降、同年12月までの11ヶ月間の実績です。

参考データ - 豪TAL財務諸表(要約)

一生のパートナー

第一生命

損益計算書 (1)(2)

(百万豪ドル)

	15/3期	16/3期	増減
経常収益	3,166	3,231	+64
保険料等収入	2,745	3,020	+275
資産運用収益	334	31	△303
その他経常収益	86	179	+93
経常費用	2,982	3,079	+96
保険金等支払金	1,808	1,949	+141
責任準備金等繰入額	447	312	△134
資産運用費用	38	72	+33
事業費	579	636	+56
その他経常費用	109	108	△0
経常利益	184	152	△31
法人税等合計	52	32	△19
純利益	131	119	△11
修正利益 (Underlying profit)	146	168	+22

貸借対照表 (1)(2)

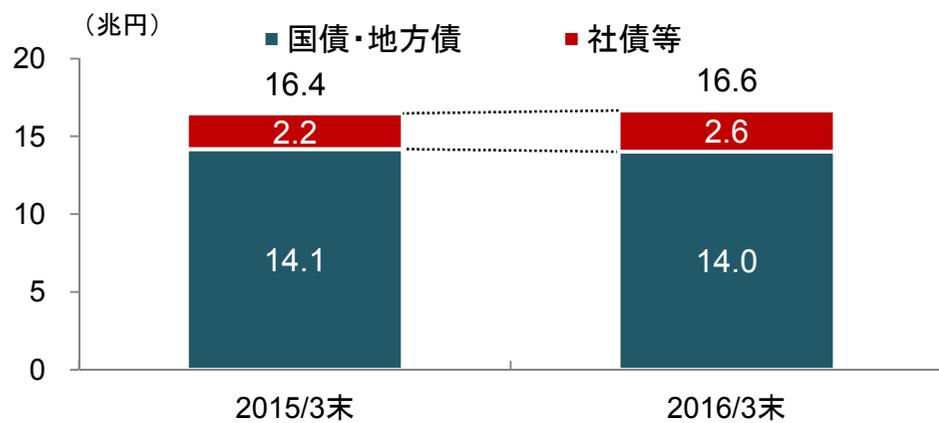
(百万豪ドル)

	15/3末	16/3末	増減
資産の部合計	6,674	7,043	+369
現預金	924	1,358	+433
有価証券	3,070	2,859	△211
有形固定資産	1	0	△0
無形固定資産	1,235	1,207	△28
のれん	786	786	-
その他無形固定資産	449	420	△28
再保険貸	116	148	+31
その他資産	1,326	1,470	+143
負債の部合計	4,641	4,890	+249
保険契約準備金	3,340	3,491	+150
再保険借	335	332	△2
その他負債	859	978	+118
繰延税金負債	106	89	△16
純資産の部合計	2,033	2,152	+119
株主資本合計	2,033	2,152	+119
資本金	1,630	1,630	-
利益剰余金	402	522	+119

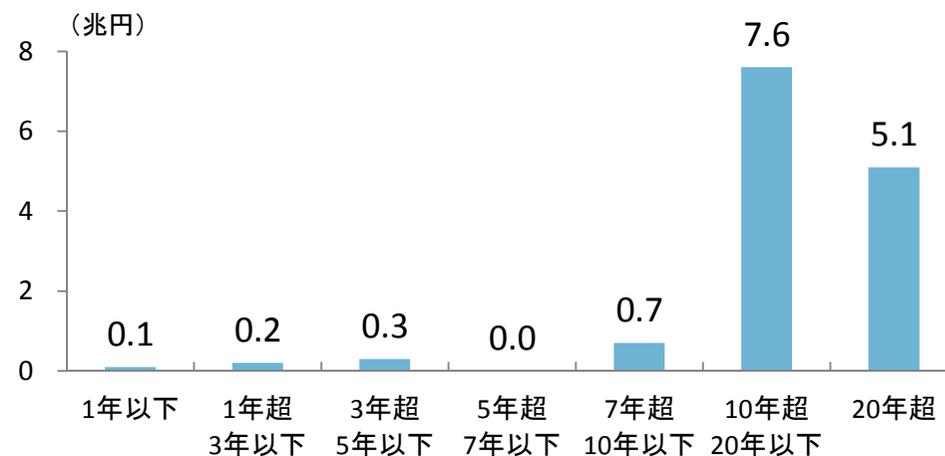
(1) 連結対象の豪持株会社 (TAL Dai-ichi Life Australia Pty Ltd) に係る数値

(2) オーストラリアの会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示しております (修正利益を除く)

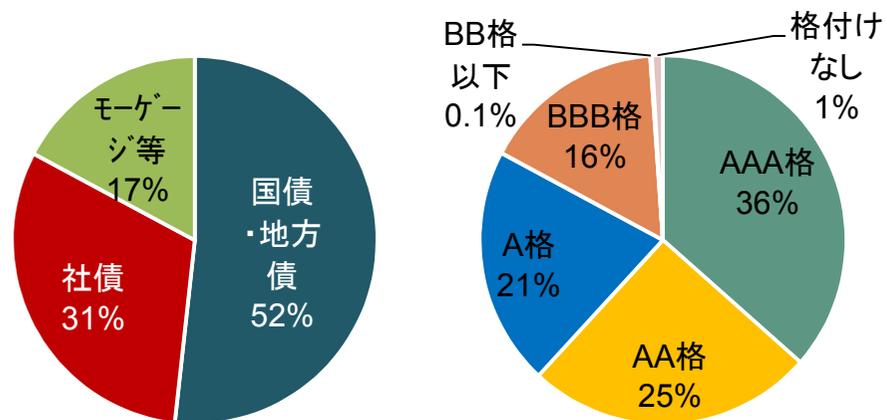
円建債券の内訳 (1)



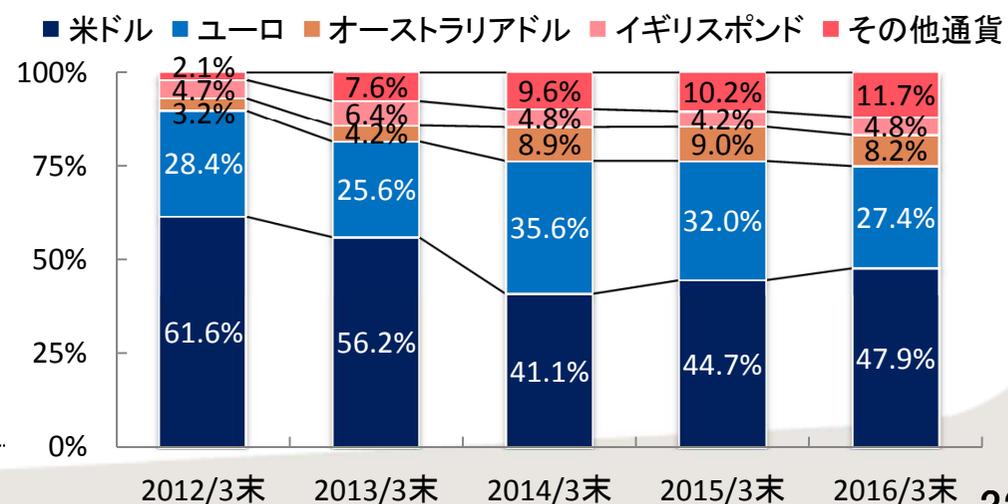
国債の残存期間別残高 (2) (2016年3月末)



外貨建債券の内訳 (2)(3) (2016年3月末)



外貨建債券の通貨別構成 (2)



(1) 簿価ベース
 (2) 貸借対照表価額ベース
 (3) 格付けはS&P・Moody'sの2社の格付け機関による格付けの中間の評価を採用、モーゲージ等を除く

参考データ - 金融市場への感応度(2016年3月末、第一生命単体)

	感応度 (1)	含み損益ゼロ水準 (2)
国内株式	日経平均株価 1,000円の変動で 1,700億円の増減 (2015年3月末:1,700億円)	日経平均株価 ¥9,400 (2015年3月末:¥8,900)
国内債券	10年国債利回り 10bpの変動で 2,900億円の増減※ (2015年3月末:2,600億円) ※その他有価証券区分:400億円の増減 (2015年3月末:300億円)	10年国債利回り 1.3%※ (2015年3月末:1.2%) ※その他有価証券区分:1.4% (2015年3月末:1.4%)
外国証券	ドル/円 1円の変動で 290億円の増減 (2015年3月末:310億円)	ドル/円 \$1 = ¥103 (2015年3月末:¥100)

(1) 各指標に対応する資産の時価総額の感応度

(2) 各指標に対応する資産の含み損益がゼロとなる水準。外国証券はドル円換算にて算出した、為替要因のみの含み損益がゼロになる水準

参考データ - 上場会社単体としての2017年3月期業績予想

一生涯のパートナー

第一生命

- 当社は2016年10月1日に持株会社体制へ移行する予定です。持株会社体制移行までは現在と同様、第一生命として上場していますが、持株会社体制移行後は「第一生命ホールディングス株式会社」に商号変更の上、上場を継続します。
- そのため、上場会社単体としての2017年3月期業績予想につきましては、現在の第一生命単体①の上期業績予想に第一生命ホールディングス③の業績予想を合算した数値となります。



(億円)		(億円)		(億円)	
第一生命単体 2017年3月期 業績予想		【現】第一生命(保険会社)① 2016年4月1日～2016年9月30日		第一生命ホールディングス (持株会社)③ 2016年10月1日～2017年3月31日	
経常収益	19,470		19,290		180
経常利益	1,790		1,660		120
当期利益	810		680		120

本資料の問い合わせ先
第一生命保険株式会社
経営企画部 IR室
電話:050-3780-6930

免責事項

本プレゼンテーション資料の作成にあたり、第一生命保険株式会社(以下「当社」という。)は当社が入手可能なあらゆる情報の正確性や完全性に依拠し、それを前提としていますが、その正確性または完全性について、当社は何ら表明または保証するものではありません。本プレゼンテーション資料に記載された情報は、事前に通知することなく変更されることがあります。本プレゼンテーション資料およびその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、第三者が公開または利用することはできません。

将来の業績に関して本プレゼンテーション資料に記載された記述は、将来予想に関する記述です。将来予想に関する記述には、これに限りませんが「信じる」、「予期する」、「計画」、「戦略」、「期待する」、「予想する」、「予測する」または「可能性」や将来の事業活動、業績、出来事や状況を説明するその他類似した表現を含みます。将来予想に関する記述は、現在入手可能な情報をもとにした当社の経営陣の判断に基づいています。そのため、これらの将来に関する記述は、様々なリスクや不確定要素に左右され、実際の業績は将来に関する記述に明示または黙示された予想とは大幅に異なる場合があります。したがって、将来予想に関する記述に依拠することのないようご注意ください。新たな情報、将来の出来事やその他の発見に照らして、将来予想に関する記述を変更または訂正する一切の義務を当社は負いません。